

## 第 33 回 基礎体温計測推進研究会定例会ご案内

第 33 回 基礎体温計測推進研究会定例会を開催いたします。

今回のテーマは「ホットフラッシュ」ということで、産婦人科医の堀口貞夫先生の講演と、村山嘉延先生（日本大学工学部 生体生理工学研究室）の最近の論文などの発表、さらに、「新規冷受容分子 TREK と女性ホルモンに着目した女性の冷えのメカニズムの解明」をテーマに研究をされている内田有希先生（昭和大学医学部 生理学講座生体調節機能学部門）に冷えのメカニズム等についてご講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

■日 時 : 2023 年 12 月 1 日 (金) 14:00~17:00

■会 場 : 朝日エル大会議室 (リアル) + Zoom ミーティング (ズーム)

(〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 ビルネット築地ビル 5 階)

■参加費 : 無料

■プログラム (予定)

14:00-14:05 会長あいさつ(5分)

戸川達男 (早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員)

14:05-14:25 講演 1 「更年期におけるホットフラッシュについて」(20分)

堀口貞夫 (元愛育病院院長、産婦人科医、当会名誉会長)

14:25-15:15 講演 2 「冷えのメカニズムー女性ホルモンと冷えー」(50分)

内田有希 (昭和大学医学部生理学講座生体調節機能学部門)

15:15-15:30 質疑応答

《休憩》

15:50-16:10 報告「生体計測関連の最新情報」(20分)

村山嘉延 (日本大学工学部 生体生理工学研究室)

16:10-17:00 ディスカッション

17:15~懇親会

(会費:5,000円 場所:カヴァタツピ 東京都中央区築地 2-12-14 フェニックス東銀座 第3ビル 2F)

### ●お申込方法

参加ご希望の方は、以下の情報をご入力の上、下記のメールアドレスまでメールをいただけますようお願いいたします。宛先メールアドレス: [info@kisotaion.org](mailto:info@kisotaion.org) (基礎体温計測推進研究会事務局)

~~~~~  
件名: 研究会参加申し込み

本文: <第 33 回 基礎体温計測推進研究会定例会>に参加します。

勉強会: (現地参加 or ズーム参加)

懇親会: (参加 or 欠席)

お名前:

ご所属:

メールアドレス:

電話番号:

ご住所:

~~~~~

お問い合わせ先: 基礎体温計測推進研究会事務局 奥山・三枝・中村 Tel: 03 5565 4919 (平日 9:30-17:

## 講師プロフィール

### ■内田 有希

所属：昭和大学 医学部 生理学講座 生体調節機能学部門 助教

長崎県生まれ。専門は温熱生理学、神経科学。早稲田大学卒業・大学院修了（博士）。（株）アイネス、高知大学、奈良女子大学 専任教員を経て現職。女性の体温調節、温熱生理、温熱快適性の研究に従事。

#### 【経歴】

2004年 早稲田大学人間科学部人間基礎科学科卒業

2004年-2006年 株式会社アイネス システムエンジニア

2009年 早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了（修士）

2012年 早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了（博士）

2012年-2016年 高知大学医学部解剖学講座 助教

2016年-2021年 奈良女子大学生活環境学部心身健康学科生活健康学コース 助教

2021年 昭和大学医学部生理学講座生体調節機能学部門 助教 現在に至る

#### 【研究課題】

- ◆ 新規冷受容分子 TREK と女性ホルモンに着目した女性の冷えのメカニズムの解明
- ◆ ミントの成分メントールによる褐色脂肪活性化に対するエストラジオールの作用
- ◆ 女性のライフステージによる女性ホルモン変動が脂質嗜好性に及ぼす影響とその作用機序
- ◆ 冷受容分子とエストロゲンに着目した若年女性の冷えのメカニズムの解明

【専門】温熱生理学、神経科学 【担当講義】（学部）生理学実習（心電図）・講義（女性生殖器、エネルギー代謝・体温調節、胎盤のホルモン、食道・胃の運動・胃液、消化管ホルモンと大腸の運動）、医学英語、PBL、TBLII（大学院博士課程）生体の機能解析法、研究指導

### ■村山 嘉延

所属：日本大学 工学部 電気電子工学科 准教授

#### 【経歴】

2010年4月 - 現在日本大学工学部，電気電子工学科，准教授

2020年4月 - 2020年9月室蘭工業大学，大学院工学研究科，非常勤講師

2019年3月 - 2020年3月ジョージア工科大学（アメリカ），客員研究員

2012年7月 - 2019年3月大阪大学大学院医学系研究科，招聘准教授

2009年9月 - 2011年8月ルーレオ工科大学（スウェーデン），博士研究員

2007年4月 - 2010年3月日本大学工学部，電気電子工学科，専任講師

2001年4月 - 2007年3月日本大学工学部，電気電子工学科，助手

2001年大阪大学，大学院 基礎工学研究科，システム人間系

1999年大阪大学，基礎工学部，生物工学科

#### 【研究キーワード】

体温/胎児外科/生体のゆらぎ/マイクロマニピュレーション/ウェアラブルセンサ/高精細画像/データサイエンス  
不妊治療/生殖補助医療/受精卵培養/卵子/受精卵の品質評価/透明帯反応

#### 【研究分野】

- ◆ ものづくり技術（機械・電気電子・化学工学） / 電子デバイス、電子機器 / 超音波工学
- ◆ ものづくり技術（機械・電気電子・化学工学） / 計測工学 / 生体計測
- ◆ ライフサイエンス / 発生生物学 / 発生生物学
- ◆ ライフサイエンス / 生体医工学 / 医用生体工学・生体材料学

■堀口 貞夫（当会名誉会長）

1933 年生まれ。産婦人科医。

東京医科歯科大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院、三楽病院、都立築地産院などを経て愛育病院院長。

2019 年 3 月、主婦会館クリニック所長を引退。

妊娠・出産に関わる仕事の経験が豊富で、これまでに3万件を超えるお産に関わった。

（一社）性と健康を考える女性専門家の会創設時からアドバイザーを務め、同会サイト上の「雅子と貞夫の性のお悩み相談室」で性に関するさまざまな悩み相談に応じている。<https://pwcsh.or.jp/consultation/>

著書共著に『あなただから、だいじょうぶ！』（赤ちゃんとママ社）、『夫婦で読むセックスの本』（日本放送出版協会）、『セックスレス時代の中高年「性」白書』（harunosora）、DVD に『基本的な鉗子分娩の手技』（日本スリービー・サイエンティフィック株式会社 <https://www.3bs.jp/>）他多数

■戸川 達男（当会会長）

1960 年早稲田大学工学部応用物理学専攻卒業。65 年東京大学大学院数物系研究科博士課程修了（応用物理学専攻）。工学博士。東京大学医用電子研究施設助手を経て、72 年東京医科歯科大学医用器材研究所教授。2003 年早稲田大学人間科学部特任教授。現在、早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員。著書に『動物の老い人間の老い－長寿の人間科学』『動物の生き方人間の生き方－人間科学へのアプローチ』『動物の心人間の心・科学はまだ心をとらえていない』（共にコロナ社）など。

【研究分野】

医工学全般、ことに、生体計測、生体システム解析、人工臓器、循環生理学、発汗学、体温計測、ウェアラブルセンサ、人間科学、遠未来